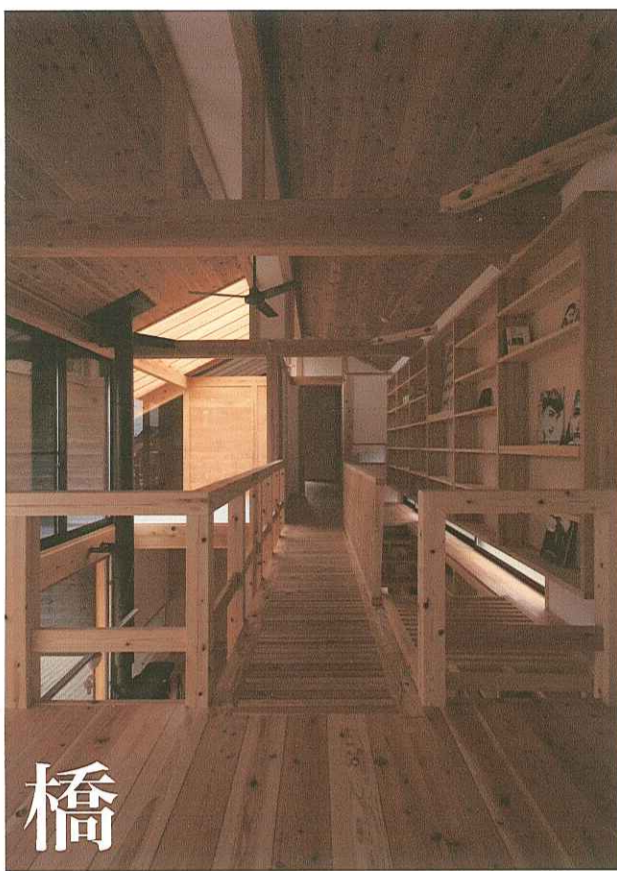




土間



橋



光

いたわり合う心を木の家から育む。

施主の渡辺氏との家づくりは、1本の電話から始まった。住宅展示場を見てまわったが、じっくりこないという内容が、受話先から垣間みれた。

第一印象では「日本の民家」「数寄屋」に通ずる嗜好を持つ施主だとは感じながらも、施主の想い描くものは、そこには少しばかり遠かった。俗に言う「和洋折衷」思考寄りかと思われたので、当初の案はそんな夢を盛り込んでみせた。

ある打合せの日の冒頭に、施主が「外壁を板張りにしたい。」という言葉を使った。

「僕らが老いていくが如く、家と向き合いたい。」老いていく=朽ち果てるではない。歳月を経る毎に醸し出す風格とも言うおうか。いたわり合う心とか。

問題はコストと法規のクリアだった。法22条区域なので延焼ラインにかかる部分は準防火性能以上、かと言って今更、延焼ラインから外した建物プランはありえない。となると、無垢の防火認定羽目板が真っ先に浮かぶのだが、コストを考えると現実的ではない。いったいどうしたらよいものか。告示を採用した。

それを機に、一気に当初の仕様から変わっていき、外壁：サイディング→羽目板、屋根：コロニアル→ガルバリウム鋼板瓦棒葺き、内装：大壁ビニクロ→真壁漆喰というような最終仕様となった。

打合せの中盤戦以降は、数寄屋建築に倣うべく、簡素な材料でつくる豊かな空間を目指していたようだ。

■杉の家

所在地/福島県いわき市
主要用途/専用住宅
家族構成/夫婦

設計
KD 設計一級建築士事務所
担当 佐藤大 佐藤勝男

施工
泰正建設
担当 根本正彦
設備 丸吉ガス燃料 担当 吉田寛
電気 和田電気工事 担当 和田理三郎

構造・工法
主体構造・工法 木造在来工法
基礎 ベタ基礎

規模

地上2階
軒高5,250mm 最高の高さ6,520mm
敷地面積 322.50㎡
建築面積 141.03㎡(建築率43.73% 許容50%)
延床面積 166.35㎡(容積率43.73% 許容80%)
1階 116.14㎡
2階 50.21㎡

工程

設計期間 2005年12月~2006年7月
工事期間 2006年8月~2007年2月

敷地条件

第1種低層住居専用地域 22条地域
道路幅員 西6.0m 駐車台数3台
外部仕上げ

屋根/ガルバリウム鋼板瓦棒葺き
外壁/杉板t=15mmキシラデコール塗り
開口部/アルミサッシュ 木製建具

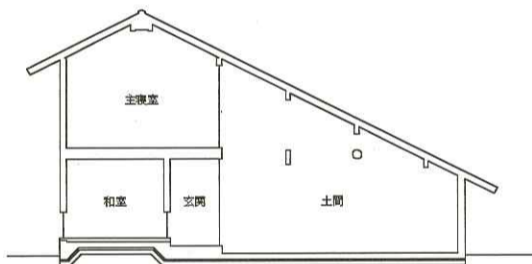
内部仕上げ

リビング・ダイニング・キッチン
床/杉フローリングt=15mm
壁・天井/しっくい塗り
和室
床/畳 一部杉板張り
壁/和紙壁紙 聚落壁
天井/檜ベニア
主寝室
床/杉フローリングt=15mm
壁・天井/しっくい塗り
趣味室

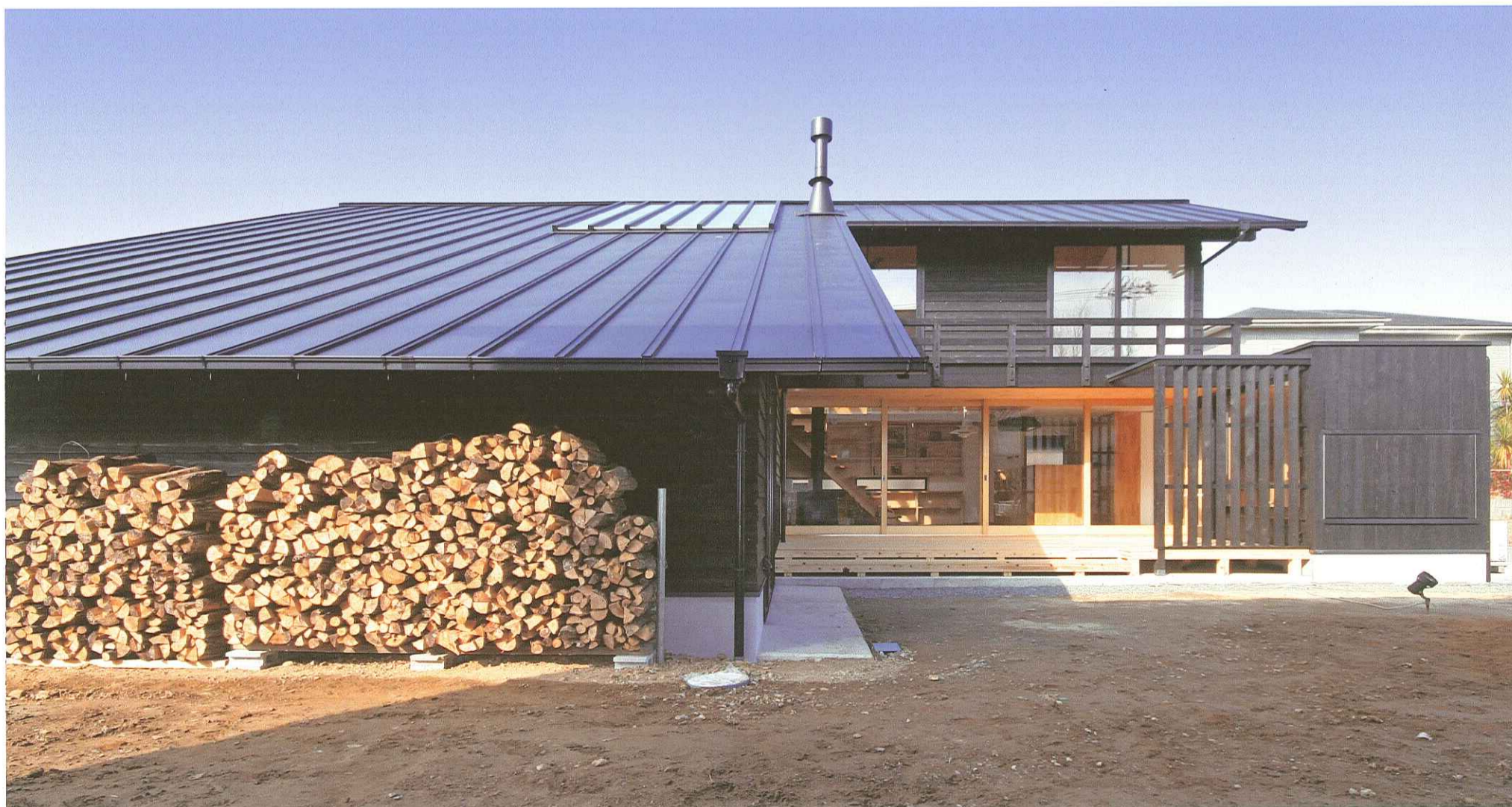
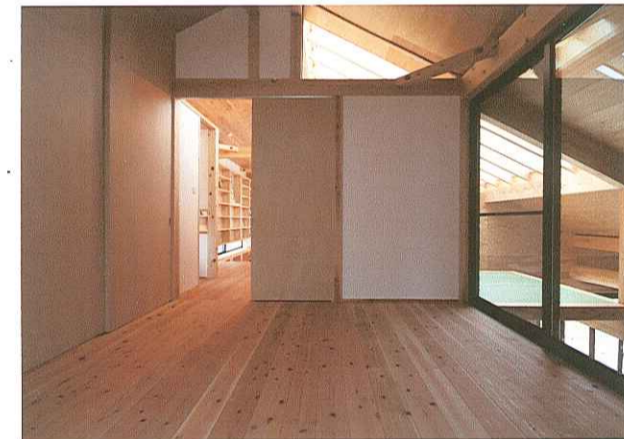
床/コンクリート
壁・天井/インテリアアラーチ合板

設備システム

空調 冷暖房方式/
空冷ヒーポンプエアコン
給排水 給水方式/上水道直結
排水方式/公共下水道放流
給湯 給湯方式/ガス給湯器
主な使用機器
衛生機器/INAX TOTO
厨房機器/ハーマン 渡辺製作所
照明/National ODELIC



断面 縮尺1/200





柱梁の構造材から、床・外壁の板材に地場産杉を使用



杉の家

